

主権者教育における デジタルコンテントの 有用性と可能性

-より早く、楽しく、効果的な学びに向けて-

京都府立大学 公共政策学部 2回生窪田ゼミ

窪田ゼミの写真



ふじ ・ ジョナゴールド ・ シナノドルチェ



Zen-Noh

ジョナ~~ゴ~~ールド

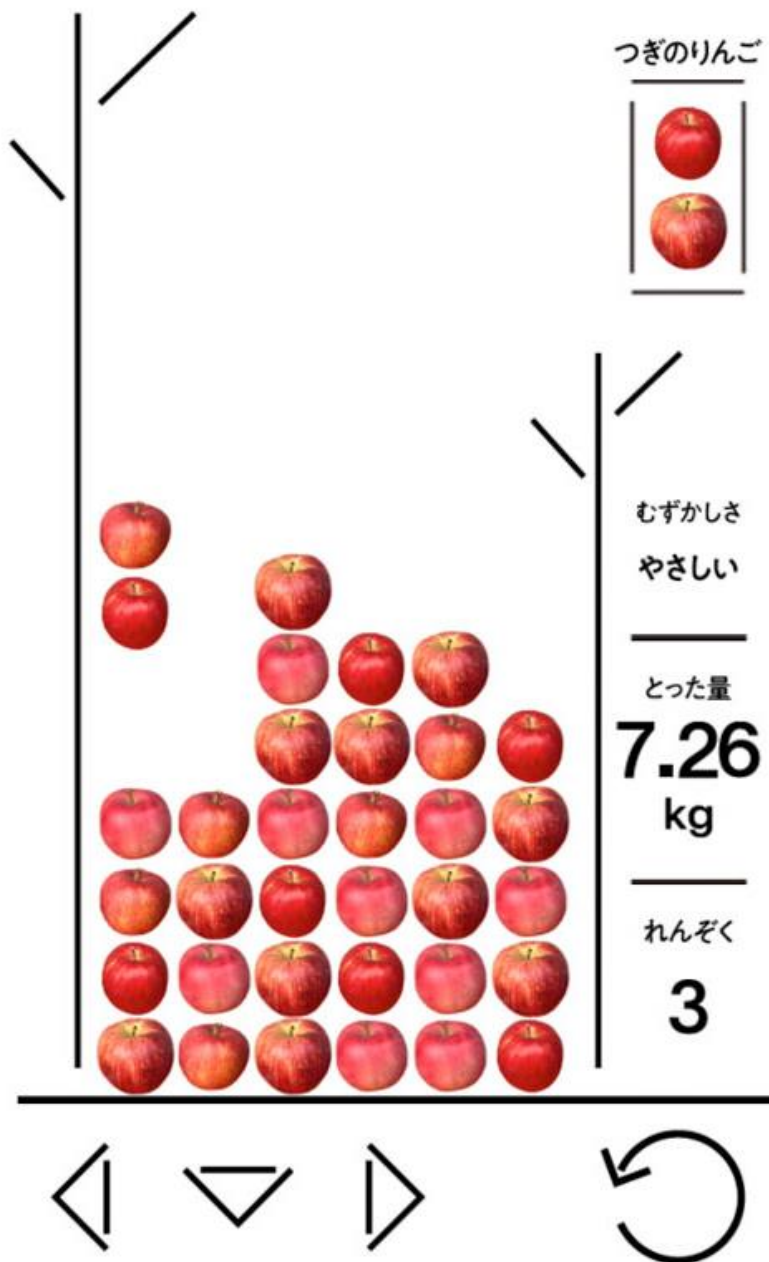


ふじ



Zen-Noh

シナノ~~ドル~~チェ



<ぷよりんご>

青森県観光企画部が作成

デジタルコンテンツ



デジタルゲーム・動画

デジタルコンテンツ

×

主権者教育

目次

何をしたいか？

提案

研究方法

検証結果

政策提言

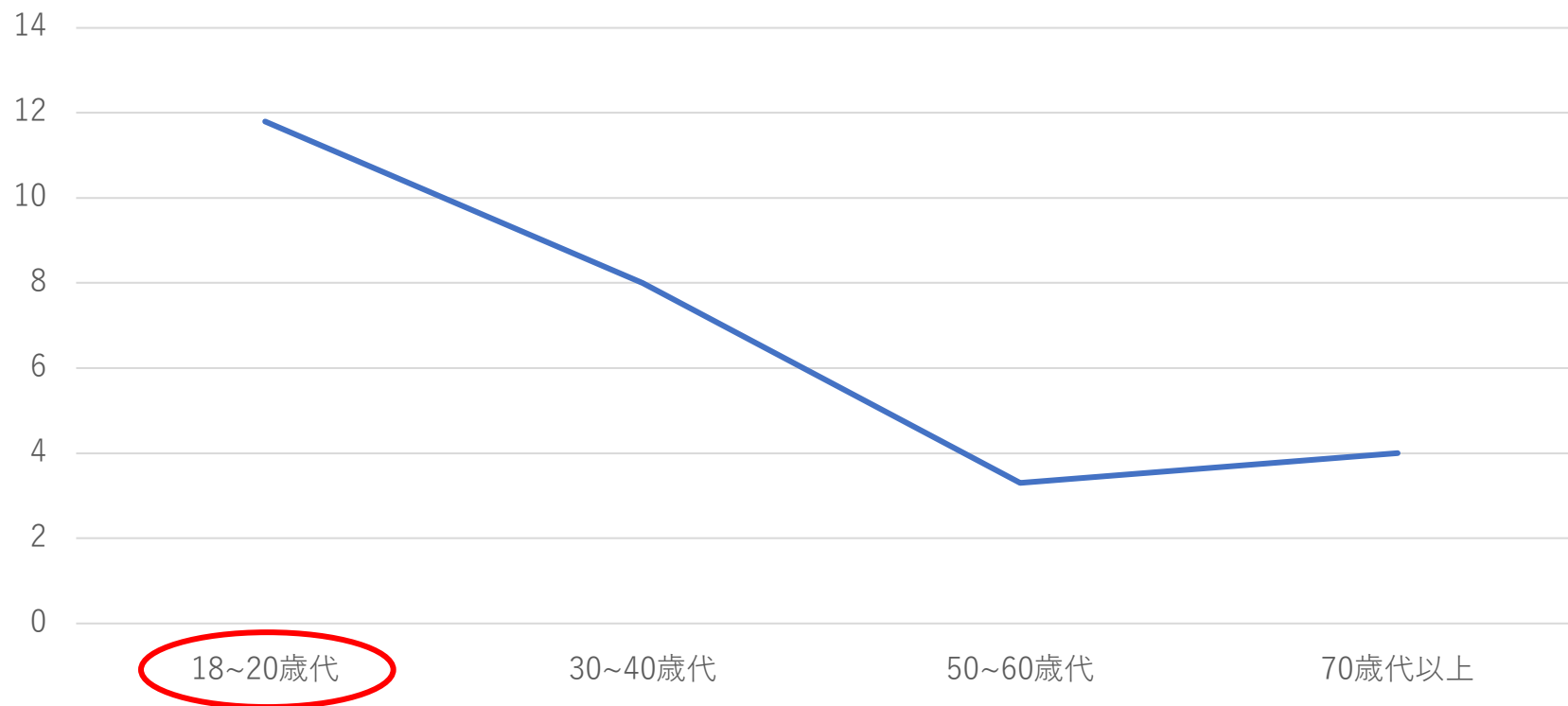
何をしたいか？

若者が自信をもって投票できるように！

主権者教育の改良

知識の不足

若者は政治を知らないから投票に行かない



第24回参院選調査 棄権理由

「自分のように政治のことがよくわからない者は
投票しない方がいいと思ったから」と回答した人の割合

投票への不安

投票に不安があるか？（対象：18～19歳）

大いにある＋ある程度ある 49%

（NHK世論調査 2016年）

投票に自信があるか？（対象：18～19歳）

自信はない 68%

（朝日新聞社世論調査 2016年）

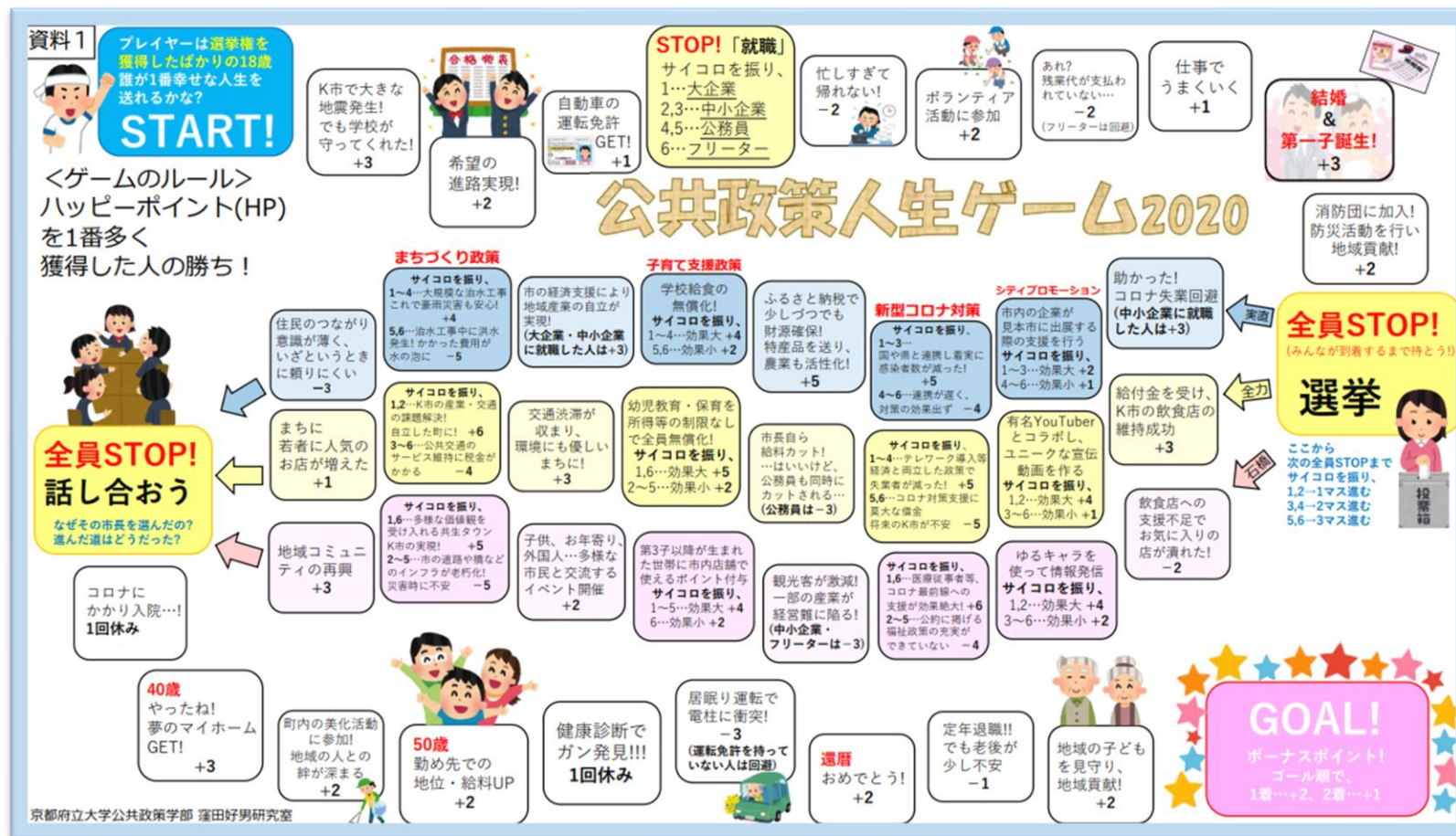
主権者教育の現状

- ・ 座学が中心となり制度を**静態的**に学ぶ
- ・ **主体的**に政治について考える機会が少ない

＊主権者教育：「国や社会の問題を自分の問題として捉え、
自ら判断し、行動していく新しい主権者を育てる」教育

アナログゲームを用いた主権者教育 (特別授業)

(2020年～2021年使用)



2018年より実施 早く・楽しく・効果的な学びの実現!

過去のパネル発表

一度きりのイベントは本当に効果があるのか？

審査員

過去の回答

アナログゲームの効果は1年後も残ります！

過去の窪田ゼミ

今年

負担を増やすことなく学びの機会を確保できないか？

何をしたいか？

公共的な課題

若者は投票の知識・自信がない
従来の主権者教育は不十分である

過去の研究室の課題

一度きりのイベントへの懷疑



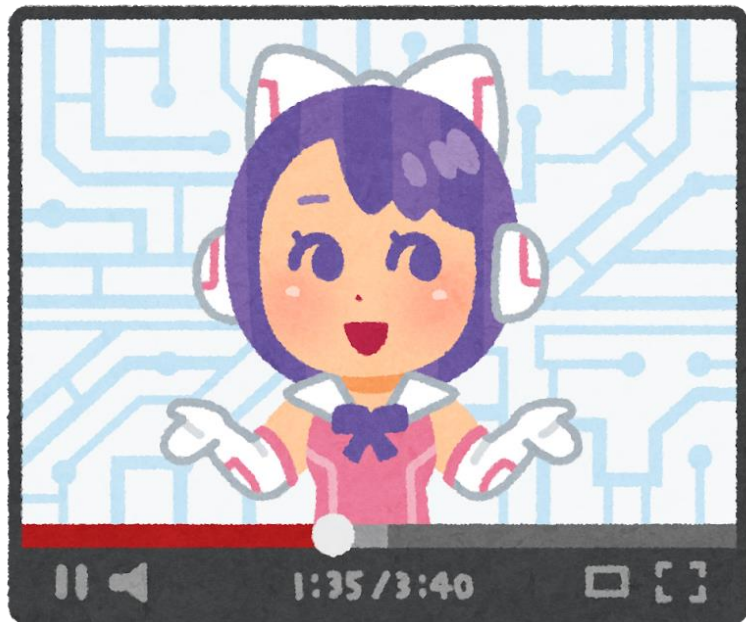
若者が自信をもって投票できるように！

学びの機会を確保できる主権者教育の改良

提案

「デジタルを用いた主権者教育」

動画



デジタルゲーム



デジタルの利点

- ・いつでも、何度でも、負担なく繰り返し行える

- ・若者世代にとって身近な存在

13歳~19歳のスマートフォンの個人保有率 79.5% (総務省 2018)

10代におけるオンデマンド型の動画共有サービスの利用率 95% (総務省 2017)

1日あたり1時間以上デジタルゲームをすると回答した中学生の割合
79.8%

(国立教育政策研究所 2021)

- ・コロナ禍におけるデジタルへの需要と推進

研究概要

<過去の研究>

- ・ アナログゲームによる主権者教育は楽しい
- ・ アナログゲームによる主権者教育は効果がある
- ・ 効果は1年以上持続する



2018～2020年
政策研究交流大会にて報告



2020年
政策研究交流大会にて報告
今回も検証

<今回の研究>

- ・ デジタルゲームを用い楽しく、自主的な学びを行うことができる？
- ・ デジタルとアナログの組み合わせによる効果はある？

検証結果

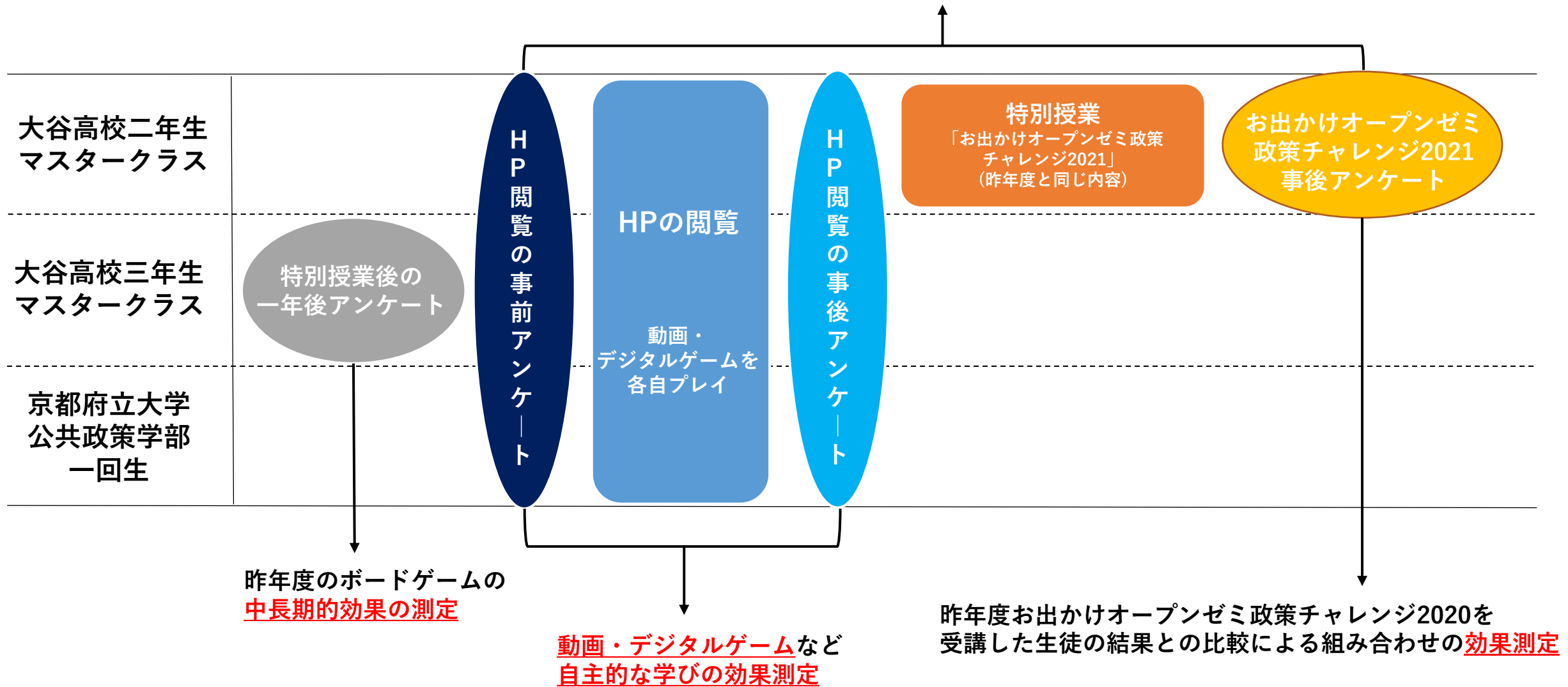
①デジタルコンテンツを使った自主的な学習は
主権者教育の改良手段として有用である。

②主権者教育は、①(デジタルコンテンツ)で得た知識を
体験型学習(特別授業)で活用することで、高い効果を発揮する。

→デジタルコンテンツ+特別授業の効果が発生！

研究方法

デジタルコンテンツによる自主的な学びを踏まえた
特別授業の効果測定



作成したホームページ

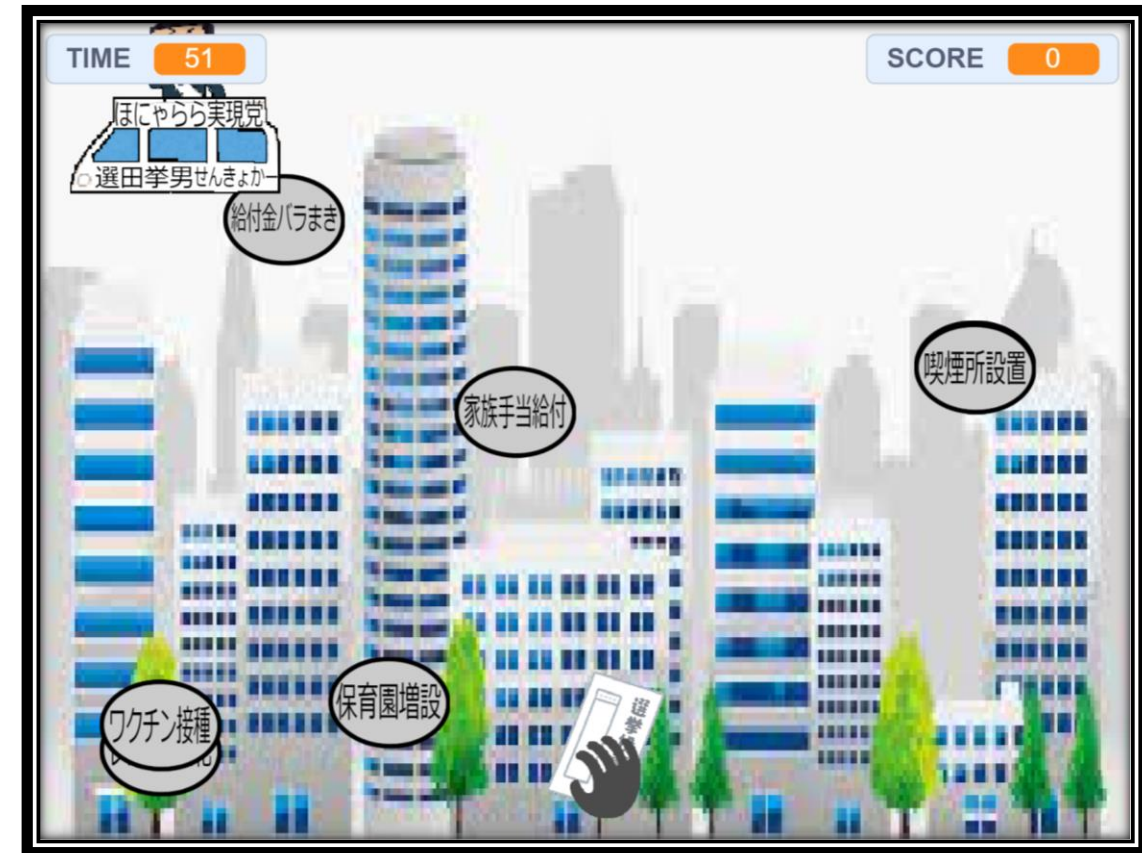


<https://kpu-kubotazemi-1.jimdosite.com/>

ホームページに掲載したデジタルコンテンツ



動画「政策を比較しよう！」



ゲーム「目指せ！良き有権者」

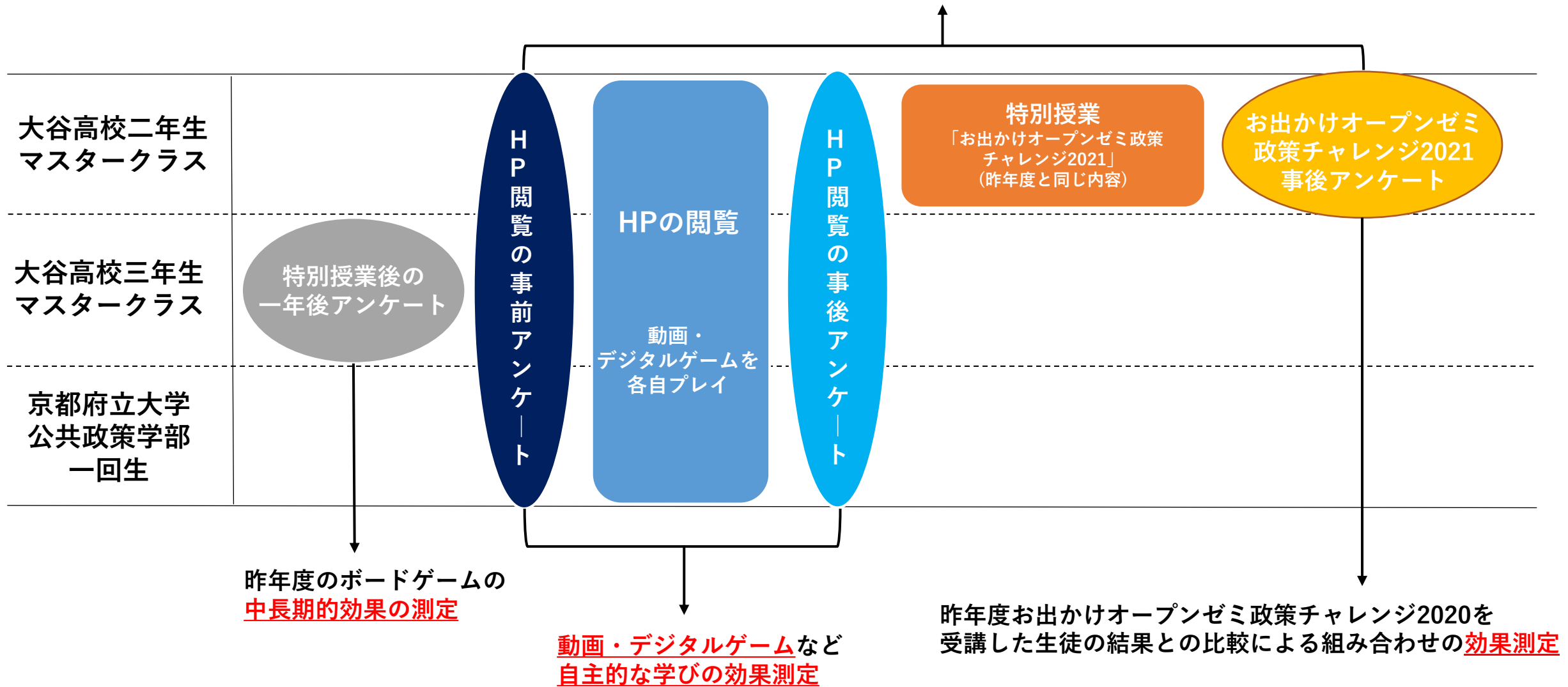
実施した特別授業の様子



大谷高校「お出かけオープンゼミ政策チャレンジ2021」
2021年11月13日実施



デジタルコンテンツによる自主的な学びを踏まえた
特別授業の効果測定



測定結果

①デジタルコンテンツの効果の測定結果



「『選挙に関する知識』を付けてもらうこと」
「投票における自信をつけてもらうこと」は可能

②デジタルコンテンツ+特別授業の効果の測定結果



(特に地方自治体の)政策に対して問題意識を持つようになる

① デジタルコンテンツの効果の測定結果

選挙と政策比較に関する
アンケート
(HP閲覧前アンケート)



ホームページ



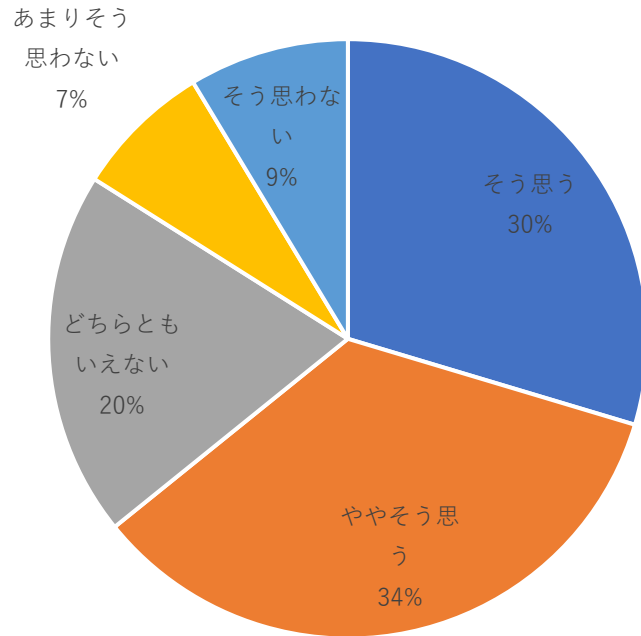
ホームページ閲覧後の
アンケート

- ・ 対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～31日)
- ・ 回答総数：81人

- ・ 対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～11月9日)
- ・ 回答総数：30人

アンケートの測定結果による検証！

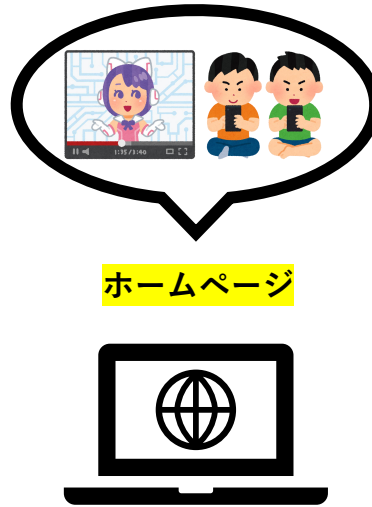
質問「選挙に対する知識が少なく、どのようにして投票先を決めればいいのか分からない」



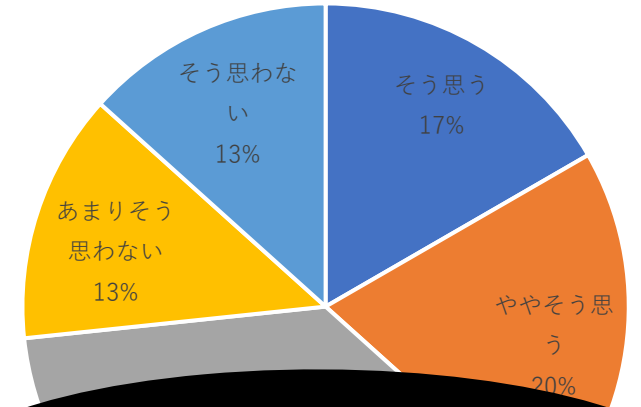
「そう思う」 + 「ややそう思う」 = 64%

選挙と政策比較に関するアンケート(HP閲覧前アンケート)

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
- 京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～31日)
- ・回答総数：81人



ホームページ



27ポイント減少！

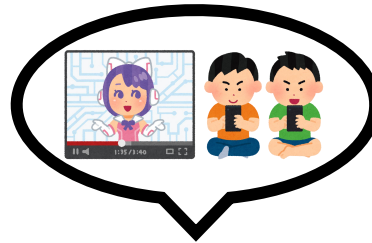
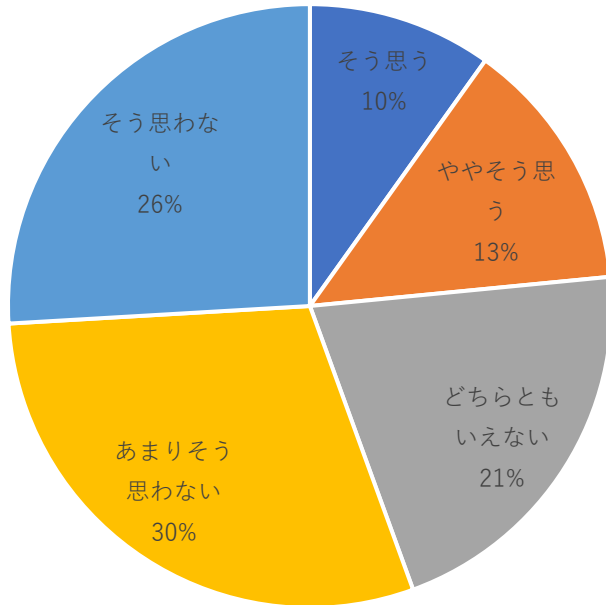
「そう思う」 + 「ややそう思う」 = 37%

ホームページ閲覧後のアンケート

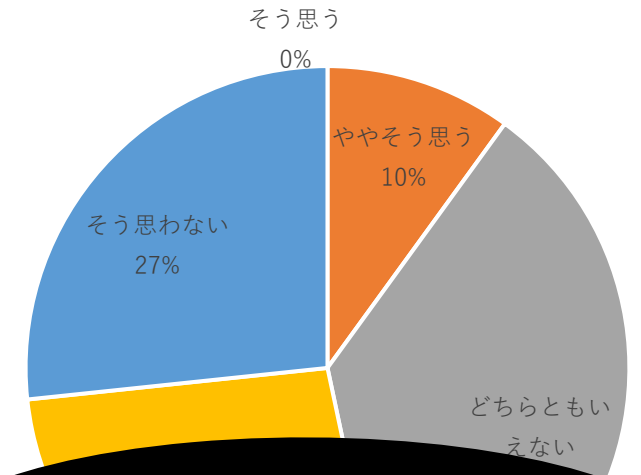
- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
- 京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～11月9日)
- ・回答総数：30人

アンケートの測定結果による検証 ii

質問「選挙に対する自信がないため、投票に行きたくない」



ホームページ



13ポイント減少！

「そう思う」 + 「ややそう思う」 = 23%

選挙と政策比較に関するアンケート(HP閲覧前アンケート)

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
- 京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～31日)
- ・回答総数：81人

「そう思う」 + 「ややそう思う」 = 10%

ホームページ閲覧後のアンケート

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース
(2021年11月10日)
- 京都府立大学 公共政策学部 1回生
(2021年10月27日～11月9日)
- ・回答総数：30人

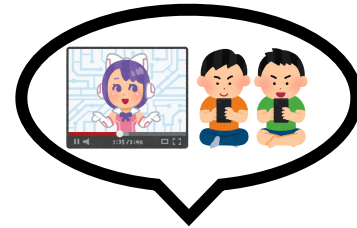
デジタルコンテンツの効果



② デジタルコンテンツ＋特別授業の効果の測定結果

2021年

選挙と政策比較に関する
アンケート
(HP閲覧前アンケート)



ホームページ



特別授業



「おでかけオープンゼミ
政策チャレンジ2021」
事後アンケート

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース(2021年11月10日)
- ・回答総数(回答率)：90人/94人(95.7%)

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース(2021年11月13日)
- ・回答総数(回答率)：62人/94人(66.0%)

2020年

選挙と政策比較に関する
アンケート
(特別授業前アンケート)



特別授業



「おでかけオープンゼミ
政策チャレンジ2020」
事後アンケート

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース(2020年10月)
- ・回答総数(回答率)：92人/92人(100%)

- ・対象(実施日)：大谷高校2年生マスターコース(2020年10月10日)
- ・回答総数(回答率)：92人/92人(100%)

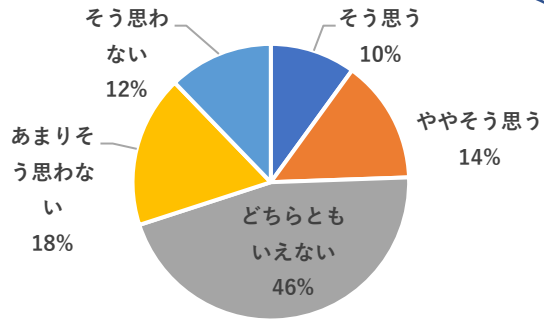
アンケートの測定結果による検証 iii

質問「私は地方自治体の政策に対して何も言うことはない」

2020

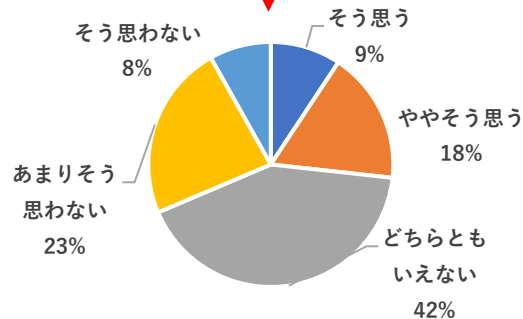
選挙と政策比較に関するアンケート (HP閲覧前アンケート)

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2020年10月)
・回答総数(回答率): 92人/92人(100%)



「おでかけオープンゼミ 政策チャレンジ2020」 事後アンケート

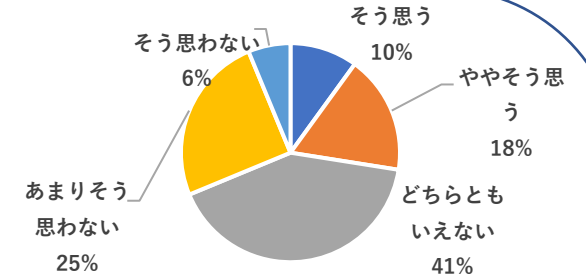
・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月13日)
・回答総数(回答率): 62人/94人(66.0%)



2021

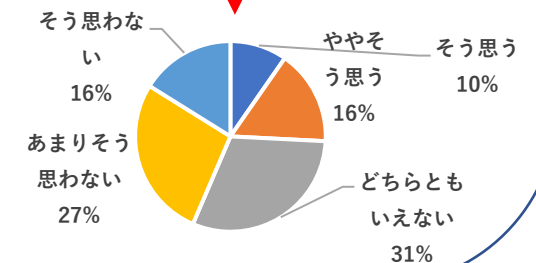
選挙と政策比較に関するアンケート (HP閲覧前アンケート)

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月10日)
・回答総数(回答率): 90人/94人(95.7%)



「おでかけオープンゼミ 政策チャレンジ2021」 事後アンケート

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月13日)
・回答総数(回答率): 62人/94人(66.0%)



アンケートの測定結果による検証 iii

質問「私は地方自治体の政策に対して何も言うことはない」

2020

選挙と政策比較に関する
アンケート
(HP閲覧前アンケート)

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2020年10月)
・回答総数(回答率): 92人/92人(100%)



「おでかけオープンゼミ
政策チャレンジ2020」
事後アンケート

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月13日)
・回答総数(回答率): 62人/94人(66.0%)

「そう思わない」 + ややそう思わない」
= 1ポイント増加

2021

選挙と政策比較に関する
アンケート
(HP閲覧前アンケート)

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月10日)
・回答総数(回答率): 90人/94人(95.7%)



11ポイント
上昇!

「おでかけオープンゼミ
政策チャレンジ2021」
事後アンケート

・対象(実施日): 大谷高校2年生マスターコース(2021年11月13日)
・回答総数(回答率): 62人/94人(66.0%)

「そう思わない」 + ややそう思わない」
= 12ポイント増加

②デジタルコンテンツ＋特別授業の組み合わせ効果

(特に地方自治体の)政策に対して
問題意識を持つようになる

検証結果

①デジタルコンテンツを使った自主的な学習は
主権者教育の改良手段として有用である。

②主権者教育は、①(デジタルコンテンツ)で得た知識を
体験型学習(特別授業)で活用することで、高い効果を発揮する。

→デジタルコンテンツ+特別授業による効果が発生！

政策提言

デジタルコンテンツ（動画・ゲーム）
＋
特別授業（座学＋アナログゲーム）

これらを **1つのパッケージ** とした主権者教育の実施

今後の課題と方向性

- ・ 特別授業のアンケートはMicrosoft formを活用したが、紙ベースのものが適当
- ・ 特別授業を選挙前に実施することで、より関心が高まる可能性
- ・ 来年の参議院選挙に向けてデジタルコンテンツを充実させていく予定

実施したアンケートの種類とその概要

	ホームページ閲覧 の事前アンケート	ホームページ閲覧 の事後アンケート	お出かけオープン ゼミ政策チャレン ジ 2021(特別授業) 事後アンケート	特別授業の1年後 アンケート
実施期間	11月10日 (高校2年生) 11月24日～11月 26日(高校3年生) 10月27日～10月 31日、12月1日 (大学生)	11月10日 (高校2年生) 11月24日～11月 26日(高校3年生) 10月27日～10月 31日、12月1日 (大学生)	11月13日	11月24日～11月 25日
対象	高校2年生、 3年生、大学生	高校2年生、 3年生、大学生	高校2年生	高校3年生
内容	選挙・政治への関 心や選挙への自信 などを問う。	選挙・政治への関 心や選挙への自 信、デジタルコン テンツの使用時 間、ホームページ で得た知識を生か せそうか、などを 問う。	選挙・政治への関 心や選挙への自 信、政策比較を実 際に行ってみたか、 特別授業で得た知 識を選挙で生かせ そうか、などを問 う。	政策を評価できる かどうか、実際に 選挙に行ったか、 昨年度に学んだ知 識を生かすことが 出来たか、などを 問う。
アンケートの意 図	ホームページの閲 覧後アンケートと 特別授業実施後の アンケートとの比 較対象。	ホームページの閲 覧前アンケートの 結果と比較し、ホ ームページの効果 を測定する。	ホームページの閲 覧前アンケートと 昨年の特別授業後 のアンケート結果 を比較し、HPと 特別授業を合わせ た効果を測定す る。	昨年の特別授業後 のアンケートと比 較し、特別授業の 効果の持続性を測 定する。
問題数	11	17	18	19

主な参考文献

- (1) 京都府立大学公共政策学部窪田好男研究室：「楽しく自然と獲得できる若者の政治的有効性感覚」(2020)
- (2) 杉浦真理：『主権者を育てる模擬投票』、きょういくネット(2008)
- (3) 総務省：「主権者教育の推進に関する有識者会議 とりまとめ」(2017)
- (4) 藤本徹：「効果的なデジタルゲーム利用教育のための考え方」
特集「ゲームは教育を変えるか?」、31 巻 P10 - 15、(2011)
- (5) 文部科学省：「主権者教育の推進プロジェクト」(2016)
- (6) 文部科学省：「主権者教育（政治的教養の教育）実施状況調査について(2020)」
- (7) 財団法人明るい選挙推進協会：「第 24 回参議院議員通常選挙全国意識調査からみた 新有権者等若年層の投票行動等について」(2017)
- (8) 氏家豊：「「18歳選挙権」の世論調査」、特集「第24回参議院議員選挙」、118巻p12-17 (2016)
- (9) 総務省：「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」(2017)
- (10) 総務省：「平成30年版 情報通信白書」、「第一部特集 人口減少時代のICTによる持続的成長」(2018)
- (11) 国立教育政策研究所：「令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果」(2021)

～ご清聴ありがとうございました！～

京都府立大学 公共政策学部 2回生窪田ゼミ